

2023 年春学期/サンディエゴ州立大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで記載されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

1. 授業について

授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

日本の高校と同じような感じだった

レベル別にクラス分けがされており授業内容もそれぞれ違った。指名されて発言することはもちろん、プレゼンテーションやグループディスカッションが多く、話す機会がたくさんあった。常に英語で考え、発言することができた。

基本的に先生が話して、グループワークという形が多かったです。また、クラス全体で手を挙げて発表するという形が多く、生徒と先生の両方が協力して授業をつくっているなと感じました。また、先生にランダムで当てられるので、常に自分も考えないといけないという状況がとても学習面で良かったと思います。

成績によってクラス分けされており人数が多いレベルは2つに分けられるなど少人数での授業でした。テキストを使ったり資料を配布されたり先生やレベルによって授業の仕方は全然違った。

クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

最後らへんは八人中七人が日本人だった

日本人3人、韓国1人、中国人1人、台湾人1人、パラグアイ人1人、アラビア語を母語とする生徒7、8人程度

基本的に日本人の比率は高く、外大以外の日本人の留学生も数人いました。アジア系の韓国や中国からの留学生が多いイメージがありません。また、トルコの方もいました。クラスによってはアラビア系の生徒が多いクラスもあり、クラスによって比率は異なると思います。1クラス約15人程度でした。

クラス人数は多くても20人未満でしたが、日本人とアラブ人が多いと思いました。

クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

日本より授業自体が楽しかった、授業時間は少し短かった

常に明るく楽しい雰囲気だった。全員が積極的で、自分の考えを発言し意見を出し合い、和気あいあいとしていた。日本での静かな雰囲気とは違い、自分も授業に常に積極的に参加することができた。

クラスの雰囲気はみんなが積極的に手を挙げて発表したり、それぞれの意見に対しての意見を言うという状況がよくみられ、先生主体の時もありますが、生徒同士で授業を進めていくところが外国だなと感じました。

少人数なので1人あたりの発言数がとても多かったです。先生との距離も日本の大学とは違いとても近かったです。

授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

自分の国の祝日を説明する授業

自分自身について(趣味、国の文化、生活、将来についてなど)

サンディエゴのホームレスの現状です。日本と違ってたくさんのホームレスがいて、その原因などを調べていく中で日本とは違う現状を知ることができました。また、自分たちで話し合っ、解決策を考えることで英語で伝える力とともに課題解決力も高くなったと感じます。

アメリカの祝日について学んだことが印象に残っています。

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

常に発言することを英語で言えるように心がけていた。誰かが発言したことをしっかり聞き取り、自分だったらどう考えるかまでを当てられることが無くても考えるようにしていた。

授業の中では、なるべくわかるところは積極的に手をあげたり、違う国出身の生徒と話すことで英語を使う機会を自分から増やそうとしていました。

授業内では自発的に発言することと、先生とたくさん授業内でも授業外でもコミュニケーションをとることです。

2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。

0人(4人)

ルームメイトはどこの国の人でしたか。

-

通学手段

通学時間

主に食事はどこでとっていましたか。

徒歩(2人)

0~15分(1人)

電車(1人)

15~30分(1人)

バス(1人)

45~60分(2人)

ホームステイ先(4人)

部屋に用意してあったものは何ですか。

自分で用意したものは何ですか。

ベット、ヒーター、ドライヤー

日用品、衣類

ベット、クローゼット、テーブル、イス

シャンプーやリンスなどのお風呂で使うやつや歯磨きなどアメニティと服です。事前にホストマザーにメールでやり取りをして、何を用意しないといけないかをかいていました。

ベッドと机などの家具とハンガーなどです。ドライヤーもありました。

メイク道具、ヘアアイロン、ドライヤー(ホームステイ先で用意してくれていましたが、日本のドライヤーの方が使いやすいので自分で用意しました。)、綿棒、充電器、スリッパ、洗面用具

ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。

そこまでホストファミリーは干渉してこないなので自分の時間は作りやすい

休日であっても起床時間が早いこと、就寝時間は常に早いこと。

日本と違って土足なので、裸足で家の中を移動できないのでスリッパを用意しました。そこは日本よりも少し生活しにくいと感じました。

ホームステイ生活を快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

ホストファミリーといっぱい話す

自分の意見をはっきり伝えること。遠慮することは逆に良い印象を与えないのでYes/Noを大切にするのが良い。ファミリーが誘ってくれるイベント、お出かけなどには基本的に参加すること。

ホストマザーやホストファザーと密にコミュニケーションをとって英語を話す機会を増やすとともに信頼関係をつくることです。

無理に様々な物を持って行かなくても生活用品や衣類などはどの留学先に行っても現地で買うことが出来ますが、自分が使い慣れているものや日本のものが使いやすいと感じることが多かったです。だから、持って行けるものは何でもなるべく持って行った方が快適に過ごせる

と思います。慣れない環境でホームシックになることは珍しいことではないので対策として自分が普段寝る時に使っているものやお気に入りのアイテムなどがあればそれを持っていくのも良いと思いました。

パソコンは持参しましたか	携帯電話	インターネットは部屋から接続可能でしたか。	その際に費用はかかりましたか。
はい (4人)	日本からSIMカードを持参(1人)	ワイヤレスで可能 (3人)	いいえ(3人)
	日本の携帯電話をそのまま持参(2人)		はい(1人)

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア/サークルなど。	学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など
自分の行きたいところに行く	ビリヤード
現地の生徒と仲良くなり、放課後に街を案内してもらったり、遊びに行っ た。	大学内にあるスーパー(Trader Joe's)で買い物をしたり、ジムに通って いた。
現地の方と話すことのできるイベントがあったのでそれに積極的に参加し ました。	学校に生徒は無料で使えるジムがあったので、そこをよく利用していま した。
SDSU では定期的に放課後に Conversation group というイベントが行わ れていたので行っていました。SDSU の現地学生や先生などのネイティブ の方々が来てくれ、3、4人のグループで会話するイベントでした。	SDSU 内にあった book store やスターバックスにはよく行っていました。ジ ムに行っている学生もとても多かったです。

3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備
単語の勉強と自分が留学中に頑張りたいことや成し遂げたいことを書き出していました。

留学前にしておけばよかったと思う準備
単語の復習はやっておいたほうが良いと思います。

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの
日本のお菓子
ポケットティッシュ、ウェットティッシュ、家で履くスリッパ
iPad と自分の箸と弁当箱と水筒が持って行って役に立ったものです。日本で買った日本の景色が書かれているメッセージカードにメッセージを書き、帰国前に渡した時はとても喜ばれました。

日本から持っていく必要のなかったもの
勉強道具
タオル、バスタオル、シャンプー、トリートメント
変圧器と単語帳

日本から持参すればよかったと思ったもの
薬、爪切り
服をもっと持っていけば良かったと思いました
たくさん服

4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。	日本円でいくぐらい準備しましたか。
クレカ	カード1上限20万、カード2上限100万、キャッシュ7万
クレジットカードを主に使用していた。	クレジットカードでの上限はなく、現金は150ドル
基本的にクレジットカードで、予備にデビットカード、現金は10万円ぶん持って行きました。	クレジットカード上限100万。現金10万
現金とクレジットカードとキャッシュカード	現金は10万円程持って行きました。

現地で支払った住居費と食費を教えてください。	テキスト代と通学費はそれぞれいくぐらいかかりましたか。
約20万円だと思います	セメスターで買えばとても安く買える
	バスの定期代で合計200ドル程度

旅行(大学主催以外)をした場合の期間、費用、行先、手配方法など
60万円ぐらいです

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくぐらいかかりましたか。
旅行、自分で飛行機を予約して自分のいる州以外にも行ってみたいこと
バケーション中にバスで3日間LAに行った。(自費)
ロサンゼルスディズニーに行きました。費用は全部で6万円ぐらいだと思います。
ロサンゼルスやラスベガス、グランドキャニオンなどに旅行に行きました。近場にもテーマパークやファッションモールなど様々な観光地があったので休日の度に日本人留学生やConversation groupで仲良くなったSDSUの現地学生たちと一緒に出かけっていました。旅行の際は2泊3日が多かったです。飛行機やバス、電車、タクシーを駆使して移動していました。グランドキャニオンへはバスツアーで行きました。

5. 学習面について

語学力・コミュニケーション能力の自己分析
普通
頭では考えていても発言することができなかつたが少しずつ出来るようになった。英語での会話が必要な授業には苦手意識がありコミュニケーションを取ることを避けることもあったがそのような事はなくなった。
これまでに比べ、リスニング力はとても上がったと感じます。また、文法などの勉強面よりも話す機会がたくさんあったので、とにかく自分の言いたいことを英語で伝えるという力がついたと感じます。
英語でのコミュニケーションがある程度スムーズに取れるようになりました。

留学前の目標とその達成度

ある程度の会話をできるようになるのが目標でそれは達成できた

英語を話す恐怖心を持っていたのでそれを克服することができた。さらに自分からも発言し、伝えたいという向上心にも繋がった。

留学前は日本でできないことをしようという目標があり、自分のアメリカでしたいことの8割は達成できたと思います

留学を通しての成長ポイント

自分の考えをより強くめてるようになった

友達ではない人(街で出会った人、近所の人、お店の人など)との交流が出来るようになった。以前は少し避けてしまっていた外国人との交流を楽しいと思えるようになった。

留学先ではホームステイでも、私の家はとても自由だったので、夕食の用意以外は自分でしていました。そこで、自分でやる力は身についたと思います。

発言力と表現力がついたと思います。

留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

変わらない

自分の思っていること、伝えたいことが上手く英語に出来ず、伝わらなかった時にすごくもどかしく、悔しい思いをし、その度に語学学習に対するモチベーションが上がった。

留学前は塾のバイトで英語の復習を教える中でしていて、留学中は文法などの面よりも話すことを大切にしていました。留学後は留学の経験を活かして、TOEFLに向けて勉強したいと考えています。

留学に行って益々モチベーションの向上に繋がりました。

留学中 100%力を振り絞った瞬間

会話の時

プレゼンテーション。授業で何回か行ったが、原稿を読むことを禁止され、ペーパーを持つこともできなかったが、考えたこと、伝えたいことをその場で英語にして発表した。先生、クラスメイトにそれらが伝わった時は少し成長を感じる事が出来た。

楽しむことを全力で楽しむことです！

留学先大学の良かった点

ジムが無料で使えたこと

広大な土地ですべての施設を使用することが可能だった。現地の学生との交流もすることができた。私たちのような留学生がイベントなどがあつた。